

施策評価シート(平成31年度実績評価)

施策の基本情報

政策No	0103	政策名	商業の振興	施策主管課	商工労政課	課長名	伊藤 昌俊
政策の目指す姿	商業機能を充実し、人とモノの流れを活発にしています						
施策No	02	施策名	商店街の再生	関係課名	大迫・石鳥谷・東和地域振興課		
施策の目指す姿	歴史と景観が調和した魅力ある商店街となっています						
現状と課題							
<ul style="list-style-type: none"> ・商業機能の郊外化や後継者不足により、空き店舗が増加するなど、市街地の商業機能は低下しており、買い物客等の人々が行き交う場がなくなり、街なかにおける人と人との交流の機会が失われています。 ・商店街の空洞化を防ぐため、遊休不動産の活用や新規出店者などへの支援が求められています。 							

前年度の評価の振り返り

前年度評価時の今後の方向性
<ul style="list-style-type: none"> ・中心商店街にある遊休不動産の活用を促進する取り組みにより新規出店者などの創業支援を進めることに加えて、上町や大町エリアをはじめとした中心市街地の物件調査を行い、新規出店希望者への速やかなマッチングにつなげる。 ・中心市街地における既存事業所の今後の経営方針を調査し、事業継続に向けた支援策を検討する。
反映状況
<ul style="list-style-type: none"> ・都市機能誘導区域内の上町・大町エリアの95件の物件情報の調査を行い、今後の未利用店舗活用につなげる基礎資料を作成した。 ・既存事業所の今後の経営方針の調査については、物件情報調査と併せて行うことを予定していたが、費用と調査事業者の労力の関係により実施に至らなかった。

1 施策の目指す姿の実現に向けた主な取組

<p>(1)商店街の賑わいづくり支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 商店街のイベント支援 商店街振興組合等が商店街の賑わいづくりのために行うイベントに係る費用の一部を補助 商店街共同施設の整備支援 商店街がアーケードや街路灯等の共同施設の整備や補修等を行う経費の一部を補助 商店街での買い物客への利便性を高めるため駐車場を確保 商店街における憩いの場づくり 「市民ふれあい広場」を設置し、商店街における買い物客や一般市民への利便性施設として提供 未利用店舗への新規出店の促進と定着支援 未利用店舗を活用して新たに創業する事業者への補助及び経営指導 都市機能誘導区域における物件調査 <p>(2)歴史と景観が調和した商店街づくりの支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域住民による特色を生かした商店街づくりの支援 大迫、石鳥谷、東和それぞれの中心商店街の顔づくりに取り組む商店街等への支援 先人や歴史を活用した街なか誘導への取組支援 日本ワインフェスティバル花巻大迫への開催支援
--

2 成果指標

成果指標名	成果指標設定の考え方	成果指標の測定方法	単位	数値区分	H28	H29	H30	H31	R02	R03
市街地における一日当たりの歩行者数	市街地に人がどれだけ来たかを示す指標	出典：商工会議所「通行量・交通量調査」 調査全ポイント(花巻14、大迫1、石鳥谷1、東和2)、日曜日1日(7:30-19:30)計測	人	目標値		6,000.00	6,000.00	6,000.00		
				実績値		6,249.00	5,845.00	4,896.00		
中心市街地の新規出店数	多様な商業形態であることを示す指標(中心市街地における新規出店状況)	まちなか創業支援事業費補助金交付件数、リノベーションによる新規出店数	店	目標値		5.00	5.00	5.00		
				実績値		2.00	6.00	4.00		
				目標値						
				実績値						

3 成果指標の達成状況

達成度	達成状況に関する背景・要因
D	<p>成果指標「市街地における一日当たりの歩行者数」…【達成度c】 調査日の天候が雨ということもあり、目標を達成できなかったものの、上町・吹張町・鍛冶町・末広町・大通りといった花巻地区の中心商店街周辺の歩行者数は前年を上回っていることから、立地適正化計画等による取組の成果が実績として表れている。</p> <p>成果指標「中心市街地の新規出店数」…【達成度c】 目標値には1件達しなかったものの、出店につながらなかった相談数は11件あり、リノベーションによるまちづくりの浸透などにより、中心市街地での空き店舗を利用した新規出店の動きは活発化していると考えられる。</p>

4 施策を構成する事務事業の検証

市民のニーズや市の関与の必要性が低下した事業、 投入コストの割に成果が低い事業、 施策への貢献度の低い事業はないか
なし
施策の目標を達成するため、さらに成果の向上を図る事業はないか
<ul style="list-style-type: none"> ・（商店街賑わいづくり事業）昨年度、新規出店につながらなかった相談のうち、物件のマッチングが整わなかったという要因もあったため、独自に物件調査を引き続き実施し、出店希望者とのマッチングに活用する。 ・（商店街賑わいづくり事業）立地適正化計画に基づく都市機能誘導区域において、リノベーションの取り組みや未利用店舗を活用した新規出店が多い、吹張町・末広町商店街から花巻駅前における新規出店者への更なる支援が必要。 ・（商店街利便性向上事業）中心商店街への誘客を図るためには、駐車場や休憩所の設置は不可欠であるが、既存の利便施設の利用状況を踏まえて、新設や廃止など適正配置の検討は必要である。 ・（商店街景観形成事業）中心商店街顔づくり交付金を活用した大迫・石鳥谷・東和地域の既存イベントの実施に加えて、歴史ある街並みを活かした街づくりの調査検討に取り組む。
新たに取り組むべき事業はないか
<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響により、大きく売上を減少している商店街を含む市内事業者に対しての支援が必要である。

5 施策の総合的な評価

課題
<ul style="list-style-type: none"> ・新規出店にあたっての物件の選定は、ほとんどが不動産業者により情報を得る状況になっている。しかし、物件数が限られているため、市独自で物件調査を実施し、利活用できる物件情報を提供する必要がある。 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、多くのイベントが実施できない状況となるとともに、商店街だけに限らず、多くの市内事業者の売上に大きな影響が生じているため、事業の継続の下支えを行う必要がある。
今後の方向性
<ul style="list-style-type: none"> ・新規出店希望者にとって、物件の選定が最も大切であり、時間を要するため、出店の需要の多いエリアの物件の基礎資料を作成し、新規出店希望者へ提供することにより、速やかな新規出店につなげる。 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、大きな影響を受けている商店街を含む市内事業者に対して、各種相談会の実施、家賃など固定経費の削減や売上を喚起する事業を行う必要がある。

施策を構成する事務事業一覧

No	事務事業名	担当課	施策への貢献度		成果
	事業内容(活動実績)		対象	意図	
			直結度		
010	商店街賑わいづくり事業費	商工労政	一致	直結	C
	商店街団体等が実施する賑わいイベント事業を支援（H31:件数13件、補助金額4,377千円 H30:件数13件、補助金額4,349千円）				
011	商店街賑わいづくり事業費	商工労政	一致	直結	C
	中心市街地で未利用店舗を活用して新たに創業する事業者への補助及び経営指導（H31:補助件数2件、指導実績4件 H30:補助件数5件、指導実績5件）				
012	商店街賑わいづくり事業費	商工労政	一致	直結	C
	都市機能誘導区域内における上町・大町エリアの物件情報調査（95件）				
013	商店街賑わいづくり事業費	商工労政	間接・少数	直結	C
	市の事業に密接な関係にある花巻商工会議所、岩手県中小企業団体中央会等に対し補助金を交付				
014	商店街賑わいづくり事業費	大・地域	一致	直結	C
	日本ワインフェスティバル花巻大迫開催（R1.5.25～26）				
020	商店街利便性向上事業費	商工労政	間接・少数	直結	C
	商店街が設置した共同施設の補修経費への補助（H31:件数1件、補助金額150千円 H30:件数1件、補助金額120千円）				
021	商店街利便性向上事業費	商・支地	間接・少数	直結	C
	商店街の利便施設「市民ふれあい広場」の運営を支援（対象：一日市、大迫、石鳥谷、東和）				
022	商店街利便性向上事業費	大・地域	間接・少数	直結	C
	大迫地区内の中心商店街来街者用駐車場を確保				
030	商店街景観形成事業費	商工労政	間接・少数	直結	C
	中心市街地における市民交流の場である賢治の広場の運営（上町）				
031	商店街景観形成事業費	支・地域	一致	直結	C
	大迫、石鳥谷、東和それぞれの中心商店街の顔づくりに取り組む商店街等への支援				